

# Hm<sup>2</sup>通信

ふむふむ

平成15年度からスタートした公益信託広島市まちづくり活動支援基金「ひと・まち広島未来づくりファンド **Hm<sup>2</sup>**」の助成事業は、広島市のまちづくりにつながる市民の皆さんの自主的な活動を応援する助成制度です。この基金の愛称「**Hm<sup>2</sup>**」は、“ひと(Hito)まち(Machi)広島(Hiroshima)未来づくり(Miraizukuri)ファンド”の頭文字(HM<sup>2</sup>HM)をとって、みんなが“ふむふむ”と納得しながら共感が広がっていくまちづくりをイメージしています。この**Hm<sup>2</sup>**通信は、「**Hm<sup>2</sup>**」に関するさまざまな活動を、“応援する”“伝える”“広げる”をキーワードに共感を紡いでいくため、私たち“ふむふむサポートボランティア”、通称「ふむふむ隊」の編集部がつくるコーナーです。

Vol.3  
第2回ふむふむ  
情報交換市の巻!



ここでは、各町内のグループ進行役等を担った、ふむふむ隊やまちづくり学校の皆さんに各グループの様子を紹介していただきます。

## 1丁目グループ

(薬研堀町内会防犯部・千田父親クラブ・フリースペースCROSS・夜廻りの会・廿日市)

「資金や支援物資を継続的かつ安定して調達したい」との悩みに、バザーで資金を稼ぐ、ホームページを作る、メールマガジンなどで会員や物品を集める、といった知恵と人脈(人力)を生かした意見が出ました。また、「専門性を持つスタッフがほしい」とか、「時間帯によって人手が不足する」といった、日々活動している団体から切実な悩みが出ました。さらに、行政(警察)との協働を必要とする団体が多く、どう連携を進めるべきかが課題として挙がりました。(ともも)

## 2丁目グループ

(瀬野川流域郷土史懇話会・広島市観光アシスタント協会・草津まちづくりの会・ラーニングネットひろしま)

各団体から「1丁を使いこなせない」「若い後継者がいない」「市民に理解されるにはどうしたらよいのか?」「資金集めにいい方法は?」などの悩みが

## 第2回助成団体中間発表会 ふむふむ情報交換市を開催!

昨年11月27日まちづくり市民交流プラザで、ふむふむ第2回助成団体による「まちづくり活動発表&ふむふむ情報交換市」が開催されました。今回は、助成団体から活動の進み具合を発表してもらい、その中から出てきた課題(悩み)の解決方法などをみんなで探りながら、活動に生かせる技術や知識などを共有しました。

まず19組の助成団体が、「まちづくり横丁1丁目~5丁目」という5つの町内会に例えたグループに分かれ活動報告を行った後、活動上で困ったことなどを「悩みのタネカード」と名づけた付箋紙に書き出しました。続いて、「周囲の理解の広がり」「スタッフ等の人員の確保」「仲間の満足度」「資金・物品等の調達度」「他機関との連携」の5つの課題項目の枝に分かれた、「ふむふむの木」が描かれた模造紙の上にカードを張り出し、その中からみんなで共有したらいと思うものを「大きな悩みのタネ」として選びました。後半は、会場壁面に掲示し



みんなから出された「悩みのタネ」に次々と「実り」のアイデアが……



出されたタネをもとに、参加者全員でその解決を図るためのアイデアやヒントを「大きな実り」と名づけたカードに書き出して情報交換し、共有(収穫)しました。

た「巨大なふむふむの木」(写真)を見ながら、各グループから張り

## 4丁目グループ

(サービスフォーピース広島事務局・広島市温暖化対策地域協議会・広島環境サポーターネットワーク・だいきくさん振興会)

「連携を行う際にどのようにして他団体に声を掛けたり、理解を得ればよいか」という悩みには、単なる声掛けだけでなく、その活動の企画・運営にかかわってもらうことも一つの方法との意見が出ました。また、スタッフの確保など流動的になりやすい団体運営の悩みは、組織形態をあらかじめ明確にすることが必要との解決策が出ました。(m)

## 5丁目グループ

(四季のこんさーとの会・あーと村いき生き会・ひろしま音読の会)

イベントを開催する上で、無料で親しんで観賞してほしいと思う団体、有料で質の高いものを提供したいと思う団体、こたわる内容で悩みは違いますが、熱い思いを仲間と共有して活動している点は共通していました。その点では、仲間の満足度は満たされている様子でした。これからは、他機関との連携や周囲の理解の広がりをもっと工夫していく必要があると感じました。(かおり)

## お知らせ

第3回ひと・まち広島未来づくりファンドE3助成団体募集

■対象および助成内容 市内在住の人が過半数を占める団体が、平成17年4月から平成18年3月までに実施する、広島市のまちづくりにつながる活動

①団体育成部門(設立後3年未満の団体。1件5万円以内。書類審査。②まちづくり活動発展部門(活動年数は問わない)。1件50万円以内。書類選考後、5月中旬の公開審査会での企画発表で決定。

■応募方法 2月2日(水)から、まちづくり市民交流プラザ、公民館、広島銀行・支店などで配布する「応募の手引」をご覧ください。

■申込 所定の申請書を、3月16日(水)消印有効までに、広島銀行金融サービス部へ。

■応募説明会のお知らせ 日時 2月17日(木)午後6時半~7時半 場所 まちづくり市民交流プラザ

■問合せ 同プラザ、または広島銀行金融サービス部法人業務推進室内(☎2475151)

※内容が一部変更となる場合がありますので、詳しくは同プラザまでお問い合わせください。

## 「ふむふむ瓦版」第2号発行!

ふむふむ参加団体の応援情報紙「ふむふむ瓦版」第2号(A4判・8ページ)を発行しました。ご希望の方は、市民交流プラザで配布中です。また、同プラザホームページでもご覧いただけます。

## ●寄付のお願い

ひと・まち広島未来づくりファンドE3は、市民・企業・行政等が力を合わせて、広島市のまちづくり活動を支えていくという基金です。できるだけ多くの皆さまからの寄付をお願いしています。どうぞご協力ください。

〈振込先〉 広島銀行広島市役所支店 別段預金No.30000017 口座名義 公益信託広島市まちづくり活動支援基金寄付金受入口

〈寄付ご紹介〉 平成16年(2004年)9月~11月までに同基金へご寄付をいただいたのは次の方々(敬称略・50音順)です。

【個人(1件5,000円)】 北村有司  
【団体・職域(4件41,827円)】 ふむふむ隊(ファンド支援イベントふむむ茶屋募金・まちづくり市民交流プラザほか2件)

平成16年11月末までの寄付金合計は、6417,554円です。まちづくり活動への熱いエールをありがとうございます

## 「Hm<sup>2</sup>通信」編集後記

佐々木宏知(ともも) 参加団体さんつとつにメールを送ります 宮本克己(じじ) 「こんなことを載せて欲しい」などお寄せ下さい。「ふむふむ隊」が取材に赴きます 西鶴英之(あらら) 困ったら みんなで悩もう まちづくり 畠中雅英(m) ダイエット 正月に向けてと 思いつつ 松田かおり(かおり) 情報交換できる場を増やし活用しまし



# プラザ通信

こんにちは、プラザ通信です。  
まちづくり市民交流プラザのいろいろな  
話題や情報をお届けに上がりました。

## ZOOM UP

### 市民企画講座を実施 「企画・運営スタッフ養成講座」にZOOM UP!

市民プランナーの養成を目的に企画した「企画・運営スタッフ養成講座」は、企画書作りから講座運営の基本



「自分発見?そんなバナナ」  
自分宣言を書いて次のステップへ

的なノウハウに関する学びの場までを提供するものです。この講座は、学びを生かす(実践することを通して学習成果を検証していけるようプログラムを組んでいます。第二期生の実践は、平成16年(2004年)10月から11月にかけて「自分発見?そんなバナナ」「自分さがし」の4日間の2講座を企画・実施しました。これらの講座は、自分らしさを見つけたり、様々な活動を通して自

### テーマ探しは現代的課題の分析から

企画者のやってみて「思い」を大切にしながら社会的課題や対象者(市民)ニーズを把握することが講座の成功の秘訣です! 新聞で情報収集をしたり、地域性に目を向けたりすると、課題に合った地域資源が見えてくることもあります。今回の自分さがしと頼山陽が結びついたのも「思い」「現代的課題」「地域資源」がリンクし



講座の企画案について真剣に議論中

たからだといえるでしょう。

**講座名(タイトル)は講座の顔**  
講座名には、伝えたいことはもちろん、ユーモアも重要になります。「自分発見?そんなバナナ」は、スタッフの「自分発見って簡単にできないよ」という半信半疑の言葉をもじってタイトルにしています。街なかのチラシや看板、あるいはスタッフ同士の会話にヒントが隠されているかもしれませんね。

### 情報共有のための議事録

スタッフの多忙なスケジュールを合わせての打ち合わせは、必ずしも全員がそろうとは限りません。そんなとき、議事録が重要な役割を果たします。欠席者との情報共有だけでなく、打ち合わせの決定事項、検討項目などの共通認識を図るためにも有効な方法です。市民交流プラ

### ねりんピックぐんまに 参加

10月16日から4日間、「第17回全国健康福祉祭群馬大会」が開催され、広島市の選手団は、伊藤勝さん(社交ダンス選手を旗手に157人が堂々と入場行進しました。

ねりんピックは、全国から60歳以上の高齢者が集まり、スポーツ競技や文化イベントで技を競い合う年に一度の祭典です。この大会の一番の成果は、全国の参加者とのふれあいですが、広島市の選手はマラソンや水泳サッカー・ボウリングの種目で優勝を、また彫刻の部では群馬県知事賞に輝くなど、優秀な成績を収めました。

平成17年(2005年)は、福岡県で開催されます。



総合開会式で広島市選手団が元気に入場

## Information

### まちづくり人材バンク発表会

▼日時=毎月第4土曜日 午後2時~4時  
▼場所=プラザ1階ロビー

| 日 時     | 内 容                     |
|---------|-------------------------|
| 1/22(土) | 「琴の演奏」講師:西本 恵子          |
| 2/26(土) | 「元気の出る講演」講師:濱下 昇        |
| 3/26(土) | 「インドの最新事情」講師:ジェームズ・ジョセフ |

入選作品93点およびエイブルアートジャパン推薦作品を展示予定。  
▼日時=2月12日(土)~20日(日)  
▼場所=まちづくり市民交流プラザ ギャラリー  
▼問合せ=NPPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん ☎082-8331-6888 ☎082-8331-6889

### i Movement 障害のある人の芸術作品展

アート・ルネッサンス2005

愛がほほえみはじめる——今年で4回目となる障害のある人の芸術作品展です。個性あふれる作品たちから、アーティストが発信するエネルギーとほほえみに満ちたメッセージを感じてください。



「自分さがし「わ」の4日間」  
絵手紙で自分らしさを表現

「今回、他府県の災害で本部を設置したのは初めてで、試行錯誤した点もありましたが、各団体との連携体制ができました。今後は、この経験を生かして活動していきます」と力強く語りました。

本部には、日本赤十字社広島県支部、ガールスカウト、ボ

### 広島市災害ボランティア本部を開設

台風23号及び新潟県中越地震で発生した災害に対応するボランティア活動を支援するため、10月28日~11月15日の19日間、まちづくり市民交流プラザ3階に広島市災害ボランティア本部が開設されました。

「市民主体のまちづくりとNPPO」という3つの分科会に分かれて、日米の事例紹介と課題等について意見交換を行いました。最後に各分科会から出てきたまとめを総括し、今回のフォーラムを機に、今後へつなげていくことを約束してフォーラムを締めくくりました。



電話で情報収集に対応するスタッフ

イスカウト、SOS、広島市社会福祉協議会、市ひとまちネットワークなど、民間団体や行政関係機関などで構成される災害ボランティア連絡調整会議参加団体をはじめ、個人ボランティアの方など延べ300人が詰め、電話や来所者など112件に対応しました。

この間、ボランティア登録が43件あり、現地でのボランティア活動に関する情報提供や連絡調整などを行いました。

「自分発見?そんなバナナ」  
自分宣言を書いて次のステップへ

## Pick up



いろんな情報の木が「ヨキヨキ生えた、らしく情報の森へようこそ」。「ひろしま情報ネットワーク」から、さまざまな情報を、ご紹介します。気になる木、きつとあるはす。

# らしく情報の森へようこそ

※この情報は12月13日現在のデータです。定員や対象が限定されているイベントや、すでに始まっている講座も「さいますので、各お問合せ先」に確認ください。



<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>



## 県立図書館 書庫見学ツアー

▼日時 11月22日(土) 午後2時～3時半 ▼場所 県立図書館(中区千田町3-7-47) ▼内容 普段入ることができない地下書庫を職員が案内。永年保存される貴重な郷土資料、あらゆる分野の講座・全集類など約50万冊の図書資料と豊富な逐次刊行物バックナンバーがあります ▼参加費 無料 ▼定員 午後2時からの小学校高学年から中学生を対象にした「子ども版」は6人(電話・カウンタ



1にて受付) 午後3時からの「一般版」は10人(当日午後2時半から受付) ▼問合せ 県立図書館資料課 ☎241-2299

## 第2回アディクション フォーラムひろしま 斎藤学講演会

「自分のために生きていく」ということ

▼日時 11月30日(日) 午前9時50分～午後3時30分(午前9時30分開場) ▼場所 県健康福祉センター8F大研修室(南区皆実町1-6-29) ▼内容 不安や家族を含めた人間関係、心の傷、虐待、暴力、いじめ、ひきこもり、つい頑張りすぎる、さまざまな依存症など、「生きづらさ」についての講演。斎藤先生との質疑応答 ▼入場料 前売り2500円、当日3000円 ▼申込 前売り券希望の方は11月20日(木)までに ▼問合せ アディクションフォーラム実行委員会 ☎090-6431-9006

## 河内・藤の木・彩が丘公民館 やまなみ子育て交流会

▼日時 3月6日(日) 午前10時～正午 ▼場所 河内公民館(佐伯区五日市上河内537) ▼内容 子ども用品の交換会、参加者全員での遊びなど ▼対象 乳幼児とその保護者 ▼参加費 無料 ▼問合せ 河内公



民館 ☎928-0219、藤の木公民館 ☎927-2496、彩が丘公民館 ☎927-8338

## 健康科学館 企画展「エコロジデヘルシー」

▼日時 3月27日(日) までの午前9時～午後5時(月曜日休館) ▼場所 健康科学館(中区千田町3-8-6) ▼内容 「キッチンからはじめるエコロジーで楽しい健康づくり」をテーマにしたパネル展示など ▼入館料 大人320円、小人160円 ▼問合せ 健康科学館 ☎246-9100



## 県立生涯学習センター 日本語を楽しもう

▼日時 11月29日(土) 3月12日(土) 午前10時～正午 ▼場所 県立生涯学習センター(東区光町2-1-14) ▼内容 11月29日は「シニアに優しいことば」をテーマに、民生委員・児童委員、介護ヘルパー養成講座講師の山口公子さんの話を聞く。3月12日は、「子どもを伸ばすことば」をテーマに、元小学校校長で広島文化短期大学講師の平岡豊



時30分～4時ごろ ▼集合場所 広電草津電停前(午後1時20分) ▼内容 海蔵寺・草津八幡宮・小泉本店・浄教寺・草津町屋・大釣井と地藏尊・大門跡(一本松)・住吉神社・恵比須神社・竜宮神社 ▼いずれも参加費 無料 ▼定員 30人 ▼持参品 筆記具、携帯用FMラジオ・イヤホン(持っている人のみ) ▼申込 問合せ 氏名、連絡先を ☎545-3838 (広島市観光アシスタント協会 まちづくり交流ウォーク係)。詳しくは、まちづくり市民交流プラザ1F情報コーナーの配布チラシで、ご確認ください

恵さんを講師に迎える ▼受講料 各回800円(託児希望は別途各回800円) ▼定員 先着30人 ▼申込方法 はがきかファクスで開催日の1週間前までに予約 ▼問合せ 〒732-0052 広島市東区光町2-1-14 県立生涯学習センター内ボランティアサークル「ちよき・ちよき」 ☎262-9129、☎262-2415

## 県立生涯学習センター 生涯学習講演会3「(仮題)『地域』に帰せよ!」

▼日時 3月4日(金) 午後2時～4時 ▼場所 県立生涯学習センター2F大研修室(東区光町2-1-14) ▼内容 社会システム研究者の三浦清一郎氏が講演する。三浦氏は、月刊生涯学習通信「風の便り」編集長、月例研究会「生涯学習フォーラム」世話人、中国・四国・九州地区生涯学習実践研究交流会の代表世話人を務める ▼参加費 無料 ▼申込 問合せ 前日までに電話かファクス(名前と電話番号を明記)で県立生涯学習センター ☎262-9129、☎262-2415まで

## 県生活協同組合連合会 ユニセフワークショップ3 「紛争に巻き込まれる子どもたち」

ユニセフ(国連児童基金)は、世界の子どものための保健・栄養・教育・緊急支援(戦争や自然災害)などの課題に取り組んでいます。そこで、生協ではこれらのテーマに沿って、開発途上国の子どもたちの現状を知ってもらい、ユニセフ活動への理解を深めることを目的に、各回完結型のワークショップをシリーズで開催しています

▼日時 11月29日(土) 午後1時30分～4時30分(受付は午後零時50分) ▼場所 中区地域福祉センター5階大会議室(中區大手町4-1-1 大手町平和ビル※市役所向かい) ▼内容 スリランカからの留学生による難民キャンプの子どもたちについての報告、ビデオ「子どもと武力紛争」視聴、ワークショップ「対立とその解決」 ▼対象 高校生以上 ▼参加費 無料 ▼定員 先着40名 ▼持参物 筆記用具 ▼申込 11月26日(水)までに県生協連合会 ☎502-3850まで



## 広島市 平和大通りの花壇を皆さんの手で育ててみませんか

市民や地域団体、企業の皆さんで平和大通りの花壇の花苗の植え付けや水やりなどに参加して美しい花壇をつくっていただく「グリーン・パートナー」を随時募集しています ▼主な作業 花の植え付け、水やりや除草などの日常的な管理、花ガラ取り ▼申込 問合せ 都市計画局緑化推進部 ☎504-2396





市民文芸作品募集

▼応募資格▶市内在住または通勤、通学している人（一般の部）、市内在住または通学している小中学生（ジュニアの部）▼募集部門▶詩（二人一編、400字詰め原稿用紙5枚以内。ジュニアの部は3枚以内）、短歌（俳句、川柳（各部門一人2首まで。官製はがき1枚に連記。俳句のみジュニアの部も募集。二人2句まで）、小説・シナリオ（一人1編、400字詰め原稿用紙50枚以内）、エッセイ・ノンフィクション（一人1編、400字詰め原稿用紙20枚以内）。いずれも右上をとめた作品を3部提出▼募集期間▶2月28日（月）まで▼応募方法▶〒730-0812 広島市中区加古町4-17 アステールプラザ内（財）広島市文化財団「市民文芸作品募集」係まで郵送、または電子メール bunka@city.hiroshima.jp。件名は「第24回市民文芸作品募集事業応募」。応募部門、題名、氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記。題名と氏名にはふりがなを付ける▼問合せ▶ ☎244-0750

財団法人ひろしま国際センター  
国際交流なんでも

ボランティア

ボランティア活動を希望する県民に、活動の場を提供するための登録制度です

▼募集内容▶①ホストファミリー②通訳・ガイド・翻訳③文化・武道紹介④日本語指導▼活動日時▶登録者と依頼者の話し合いで決定▼活動場所▶県内▼申込方法▶所定の申込書に必要事項を書いて〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階（財）ひろしま国際センターに提出▼問合せ▶ ☎541-3777

広島市

「そこが知りたい1日記者」  
になりませんか

▼対象▶市内在住で、平日の昼間に取材活動ができる人▼活動内容▶広報紙「ひろしま市民と市政」15日号に連載中の「そこが知りたい1日記者」を担当。市の仕事や施設などをリポートします▼応募方法▶はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、取材希望分野（福祉、環境、文化など）を書いて市役所広報課（〒730-8586 住所不詳）へ郵送するか、ファクスで。ホームページ「募集中」からも応募できます▶URL▶http://w

ww.city.hiroshima.jp▶問合せ▶ ☎504-2117、☎0882-504-2067

早稲田公民館

使わなくなった学習教材  
をご提供ください

▼募集内容▶家庭で眠っている図鑑や百科事典、国語辞典、英和辞典、和英辞典を募集。おおむね5〜7年以内の発行で、上下巻などがある場合はそろっているもの▼問合せ▶早稲田公民館 ☎502-1239

吉島子育てオープンスペース  
フリーフリー

スタッフ募集

0〜3歳までの子どもとその保護者を対象に、ボランティアスタッフ運営による子育てオープンスペース（子育て情報コーナー、遊びの広場、お茶のコーナー、リサイクルコーナーなど）を開催しています

▼活動日時▶毎月第2月曜日午前9時〜午後2時▼活動場所▶吉島公民館（中区吉島西3-2-10）▼活動内容▶オープンスペースの会場準備や運営、受付、片付け。ほかに企画や会報誌の作成など▼対象▶子育て支援に関心のある人▶申込・問

合せ▶吉島公民館 ☎246-4121、☎246-4127

助成

セブンイレブンみどりの基金  
環境市民ボランティア活動  
助成制度（活動助成）

セブンイレブン店頭で預かりした募金を、「環境」をテーマに活動している市民ボランティア団体に届ける制度です

▼対象▶国内において、「環境」をおもな目的に活動している団体で、「環境の保全を図る活動」を活動分野として認証されているNPO法人か、任意の環境市民ボランティア団体▼対象活動▶自然環境保護・保全活動、森林保全活動、里山保全活動、生態系保護活動、体験型環境学習活動、地域清掃活動、植花活動、環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動▼選考方法▶助成選考委員会にて審査・選考▼応募方法▶申請書などの必要書類を5月28日（月）までに、〒102-8455 東京都千代田区二番町8-8 セブン

イレブンみどりの基金事務局まで郵送▶問合せ▶ ☎03-6238-3872、☎03-3261-2513▶URL▶http://www.7ndori.org

平成17年度  
SSFスポーツエイド

スポーツ団体が行う事業に対する助成金制度です

▼対象▶①任意団体で規約会則があり、団体としての取り決めや経理処理ができるスポーツ団体②社团・財団またはNPO法人格を持つスポーツ団体▼対象事業▶スポーツ団体が平成17年度内に実施する大会や教室・講習会、国際交流、青少年のプログラム、スポーツキャンプ事業。青少年のスポーツ参加を積極的に進める事業と、指導者を積極的に育成する事業が重点項目▼助成金額▶50万円〜200万円▼応募方法▶ホームページ▶http://www.ssf.or.jp/から申し込む▼応募期限▶1月31日（月）まで▶問合せ▶ 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 笹川スポーツ財団業務部業務課 ☎03-32580-5854



らしくく  
広場

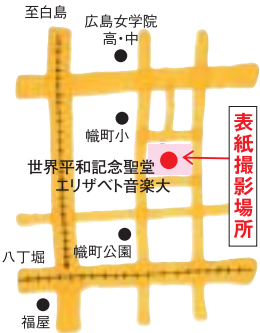
●今号の表紙●



表紙タイトル／平和への道  
モデル／小城 和子さん  
撮影／田中 三輝夫

平和へと続く道しるへ  
世界平和記念聖堂

さてここは何処でしょう？ といいたくなるようなエキゾチックな場所。広島市中心地にこんな静けさと雰囲気包まれたところがあるとは意外に知られていないのでは。今日はエリザベト音楽大学ピアノ科の小城さんと金屋さんに表紙モデルをお願いしました。たずさえた楽譜は？と聞くと「バッハのインベンションです」と小城さん。笑顔の美しい二人が奏でるのはショパンの夜想曲か、それともブラームスのバラードだろうか……そんなシックな曲がどこまでもお似合いの楽聖の卵たちでした。



表紙撮影場所

昭和20年（1945年）8月6日。広島に原子爆弾が投下され十数万人の尊い命が失われました。カトリック幟町教会の主任司祭であったフーゴー・ラサル神父も、身をもつて原爆の惨劇を体験しました。原爆で失われた命を悼み、傷ついた広島市民の心を癒したい。世界の平和を祈る場所として、「世界平和記念聖堂」を建立したいという強く願ったラサル神父は、世界中を回り、聖堂建設のための寄付を募ったといいます。数多くの善意が寄せられ、昭和29年（1954年）8月6日に世界平和記念聖堂が完成しました。設計を手がけた村野藤吾氏も、ラサル神父に感銘を受けた一人。著名な建築家であった村野氏は、神父の献身的な活動に心を打たれ、ほぼ無償で聖堂の建築を請け負ったそうです。（お話を伺った人…世界平和記念聖堂主任司祭／深堀升治さん）

ボランティアちょっと情報③

マスコミ活用術〔新聞編〕

自分たちの活動やこれから行うイベントを宣伝したい！  
そんな時に力強い味方になってもらえるのがマスコミです。  
今回は、新聞社についてご紹介します。

- ・各地域版は情報提供の呼びかけをしています。活動内容の詳細が決定したら、時期をねらってファクスや郵送で情報提供しましょう。（早すぎても遅すぎてもダメ）
- ・各新聞には読者投稿欄もあります。市民活動やボランティアの体験を投稿してはどうでしょう。

| 新聞名  | 広島支社等の連絡先                                                                                                |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 中国新聞 | 中国新聞社 社会・経済グループ<br>〒730-8677 広島市中区土橋7-1<br>☎ 082-236-2323 ☎ 082-236-2321<br>http://www.chugoku-np.co.jp/ |
| 朝日新聞 | 朝日新聞社広島総局<br>〒730-0011 広島市中区基町13-7<br>☎ 082-221-2311 ☎ 082-223-7606<br>http://www.asahi.com/             |
| 毎日新聞 | 毎日新聞社広島支局<br>〒730-0014 広島市中区上幟町3-26<br>☎ 082-221-2181 ☎ 082-223-5745<br>http://www.mainichi-msn.co.jp/   |
| 読売新聞 | 読売新聞広島総局<br>〒730-0012 広島市中区上八丁堀8-8<br>☎ 082-221-1111 ☎ 082-221-3128<br>http://www.yomiuri.co.jp/         |
| 産経新聞 | 産経新聞<br>〒730-0017 広島市中区鉄砲町5-16<br>☎ 082-228-9111 ☎ 082-227-7535<br>http://www.sankei.co.jp/              |

・また、広島市役所内の市政記者室に情報提供することも可能です。その場合、幹事社の了解が必要ですので事前にお問い合わせください。（☎ 082-504-2118）

今回の読者プレゼント

- ▶P7「ビビッとしく」から  
ルームスプレー……………2名様  
提供／（株）フェスタ
- ▶P14「おもしろPスポット」から  
おりづる再生ノート＆オリジナル  
歯磨きのセット……………5名様  
提供／広島本通商店街振興組合
- ▶カレンダー……………3名様  
提供／（株）ニシキプリント



読者プレゼントの締切は1月31日（月）消印有効です。アンケートに必要事項を記入の上、郵送・ファクス・ホームページでらしくく編集部まで申し込みにください。プラザ1・2・3階に専用ポストも置いてあります。

（お詫びと訂正）  
前号の「ふむふむ通信」P23の寄付者リストのうち、間違いがありません。訂正するとともに、お詫びいたします。  
誤：消防局警察課→正：消防局警防課

「らしくくをゆくり手元で読みたい！  
そんなあなたへうれしいお知らせ」  
らしくく編集部からご希望の方に年間らしくくをお届けします。ご希望の方は、氏名、住所、連絡先を記入し、切手640円分（160円×4回）を同封の上、らしくく編集部まで郵送ください。  
「らしくく情報の森」に載せてほしい！というイベントや募集情報などがあり、また、郵送・ファクス・電子メール等でらしくく編集部までご連絡ください。  
らしくく編集部  
〒730-0031  
中区紙屋町1-22 広電ビル6階  
（株）ガリバープロダクツ内  
TEL 082-224-0768  
FAX 082-224-8750  
E-mail info@gariver.co.jp



雁木タクシー



らしく情報のより所てくてく特派員と巡る  
街道てくてく散歩。  
今日はどんな発見がありますやら…

## Vol.7 雁木タクシーを利用した 「水の都ひろしま 川の観光ガイド」



今回のてくてく特派員は、水上交通に以前から関心があったという井下眞智子さんです。知り尽くした広島のみちを、普段とは違った目線から楽しめたと感激していました。明るい人柄で同乗者やガイドとすぐに打ち解け、運行記念に集まった人々の活動にも関心を示していました。

10月17日、広島市の川を行き来する「雁木タクシー」が本格運行しました。雁木は川から岸に上がる階段のことで、江戸時代には荷揚げ場としてにぎわっていました。現在、広島市内には約300カ所あります。ボランティア・シティガイドひとときの勝笹豊さんの説明を受けながら、川旅を楽しみました。

①縮景園  
浅野藩の別邸として、家老であり茶人でもあった上田宗箇によって造られました。庭内の池には京橋川からも水を引き入れており、淡水と海水が混ざっています。

②三軒紺屋  
江戸時代にはこの辺りに多くの紺屋・染物屋があり、その中の3軒が問屋のような役割をしたため、三軒紺屋と呼んだそうです。

③神田橋  
享保14年(1729年)ごろの地図にも載っているほど歴史のある橋です。

④工兵橋  
明治22年(1899年)、地元の工兵隊が牛田の演習場へ行くために架けたつり橋。それと平行して架かる新こうへい橋は、昭和48年(1973年)の架橋時、橋の両端の町



### INFORMATION



**雁木タクシー**  
雁木を乗降場に、小型ボートで運行する水上タクシーです。遊覧料金10分1000円(1艇4人まで)から。記念日のイベントや通勤、釣り、観光に利用できます。  
問合せ ☎082-230-5537 (NPO法人雁木組)



みくりや 御厨憲二船長



ボランティア・シティガイドひととき  
自由プラン、またはお勧めコースに沿って広島のみちを案内。月に1回、雁木タクシーを利用して案内もしています。乗船時間は約30分。1人800円(船代込み)。2月・3月は12日(土)を予定(雨天等は13日に延期。詳細は下記に問合せを)。  
問合せ ☎090-4103-2054 (ボランティア・シティガイドひととき)



勝笹豊さん

⑨相生橋  
原爆投下の目標になったT字型の橋。以前は、平和記念公園の北端から両岸に向かって2本の橋が架かり、二つの幹から二つの枝が出ているように見えたので「相生」と名付けられました。

⑧空鞆神社  
弘治元年(1555年)、毛利家の剣術指南の座をかけた試合の際、片方の剣士の鞆が松の枝にかかったことが名前の由来といわれています。

⑦寺町  
福島正則が12の寺を集めて城の防御線としたことが始まり。今でも17の寺が密集しています。

⑥楠木の大雁木  
江戸時代は6メートル弱でしたが、明治時代に山陽鉄道の開通に伴い拡張されました。

⑤サギの中洲  
川の中にできた島のような場所を中洲といいます。アオサギなどの繁殖場所となっています。

で命名に関して意見が対立し、双方とも公平にという意味を込めて名付けられたそうです。

応援します！生涯学習・ボランティア・市民活動

## 広島市まちづくり市民交流プラザ

土・日も  
オープン  
午後10時まで

●開館時間  
午前9時半～午後10時

●休館日  
火曜日、祝日法に規定する休日(火曜日の場合は直後の休日でない日)、12月29日～1月3日。  
ただし、8月6日は開館

●交通アクセス  
市内電車：「袋町」電停から徒歩約3分  
バス：「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分  
アストラムライン：「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。  
ただし、車いす利用者等用駐車場は3台分用意しています。  
※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

●ホームページ  
<http://www.hitomachi.city.hiroshima.jp/m-plaza/>

●ひろしま情報a-ネット  
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>

●E-mail  
[m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp](mailto:m-plaza@hitomachi.city.hiroshima.jp)



〒730-0036 広島市中区袋町6番36号  
TEL 082 (545) 3911(代表)  
TEL 082 (545) 3913(施設予約受付専用)  
FAX 082 (545) 3838